

18 国家プロジェクトとしての四国の新幹線の早期実現について

【国土交通省】

【提案・要望事項】

- (1) 長年構想がありながら実現していない新幹線の基本計画路線の整備を、活力ある新しい日本の将来を目指す国家プロジェクトとして、四国の新幹線の整備計画格上げに向けた法定調査を実施すること。
- (2) 新幹線整備予算の拡充や地方の負担によらない新たな財源の活用による全国新幹線ネットワークの整備を促進すること。

【現状・課題】

- (1) 新幹線は、都市間のアクセスを飛躍的に向上させ、ビジネスや観光面の交流人口の拡大、企業立地の推進など様々な効果が期待できるが、全国で新幹線整備が進む中、四国の新幹線は50年以上基本計画路線にとどまっており、四国は唯一の新幹線空白地帯として地域間競争で大きなハンデを負っている。さらに、30年以内に80%程度の発生が予想される南海トラフ地震への備えとして、災害に強い新幹線の早期実現は四国の喫緊の課題であるとともに、厳しい経営状況が続くJR四国にとって、収益の柱となる新幹線事業が実現されなければ、四国の鉄道ネットワークそのものが消滅しかねない危惧がある。
- (2) 「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を実現するためには、新幹線をはじめとする地方創生に不可欠な基幹的公共インフラの地域間格差の早期是正を推進する必要があることから、基本計画を含めた全国の新幹線ネットワークの整備を促進するためには、新幹線整備予算の拡充や地方の負担によらない新たな財源の活用が望まれる。

四国における鉄道の抜本的高速化に関する基礎調査(H26)

4 県県庁所在地を新幹線で結節し、瀬戸大橋経由で山陽新幹線に接続するルートで経済波及効果最大。将来的な海峡部分整備により、山陽新幹線の代替経路となり、第二の国土軸となり得る。

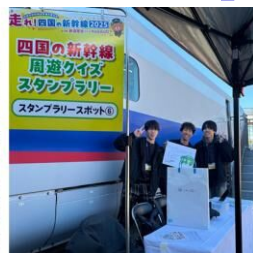
四国新幹線の時短効果



【県内の取組】

- 知事を会長として経済・観光・農林水産団体等で構成される「愛媛県新幹線導入促進期成同盟会」を中心に、大規模商業施設等での啓発活動や大学生等と連携したイベント実施、プロモーション動画の作成、駅や空港での大規模広告など、多様な広報活動を展開しており、住民の理解促進に向けた機運醸成を図りつつ、国への要望活動等に官民連携して積極的に取り組んでいる。
- また、四国4県及び経済団体等で組織する「四国新幹線整備促進期成会」においても、署名活動に取り組んだほか、四国外での機運醸成活動や、東京大会をはじめとする要望活動を4県一丸となって展開している。

【主な機運醸成活動・要望活動】



鉄道歴史パークinSAIJOでのイベント開催(R7)

国土交通省への要望活動(R7)



プロモーション動画作成(R6)

新幹線俳句イベント(R7)

鉄道万博まつりwith観光EXPO (万博記念公園)ブース出展(R7)

【実現後の効果】

- 四国4県都と新大阪が2時間以内で結ばれるなど時間距離が短縮することによる、観光交流の拡大、商業施設の新規立地、都市機能の相互利用や行政投資の効率化など
- 新幹線導入により路線の高規格化が図られ、南海トラフ地震の発生による甚大な被害が危惧される四国において、防災力の強化が促進
- リニア中央新幹線も含めた全国の新幹線ネットワークが整備され、愛媛県を含む四国と全国の各都市が有機的かつ効率的に連結することによる、地域振興や経済の活性化など、地方創生の起爆剤